

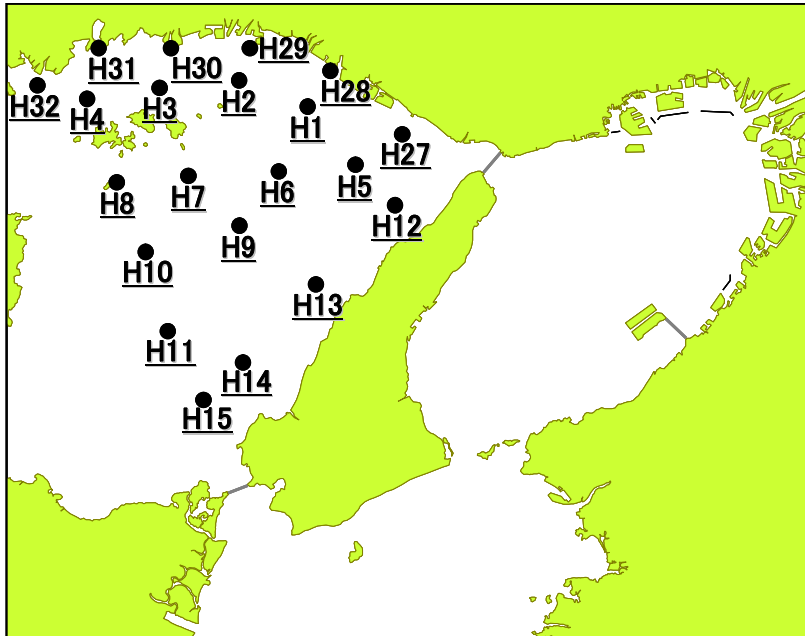
兵庫県水産技術センターだより

赤潮情報 AK-02-10 号 (播磨灘全域)

令和2年8月4日発行

8月3~4日に赤潮プランクトン調査(播磨灘全域:定期調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

- 【概況】・沖合域を中心に、魚類を斃死させる有害赤潮プランクトン(シャットネラ・オバータ)がやや多く発生しています。
魚類養殖、活魚の運搬や畜養、漁船の航行には十分にご注意ください。
- ・北部の沿岸域の表層では、珪藻類(無害種)が増殖しており、着色はこれによるものが主体です。
 - ・本種は、大阪湾や播磨灘の他県海域でも増殖中です。今後とも海況や海色の変化にご注意願います。



注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値	
注意体制: 10細胞/ml	警戒体制: 100細胞/ml
カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	
注意体制: 500細胞/ml	警戒体制: 5,000細胞/ml
ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	
注意体制: 50細胞/ml	警戒体制: 500細胞/ml

※シャットネラ・オバータについては本県では基準密度を設定していませんが、同属のシャットネラ・アンティカ、マリーナと同等の注意や警戒をお願いします。

赤潮プランクトン調査結果(海水1ミリリットルあたりの細胞数)

※H2, H28, H30, H31 は赤潮情報 AK-02-09 号の調査データを再掲

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリーナ	シャットネラ・オバータ	シャットネラ・グロボサ	シャットネラ・ベネネロサ	コロドニウム・ポロキロイダ	ヘテロカプサ・アチア
H1	0	0	0	0	20.0	0	0	0	0
H2	0	0	0	0	32.7	0	0	0	0
H3	0	0	0	0	2.0	0	0	0	0
H4	0	0	0	0	13.0	0	0	0	0
H5	0	0	0	1.0	8.0	0	0	8.0	0
H6	0	0	0	2.0	27.0	2.0	0	0	0
H7	0	0	0	0	51.0	0	0	0	0
H8	0	0	0	0	37.0	3.0	0	20.0	0
H9	0	0	0	1.0	88.0	4.0	0	15.0	0
H10	0	0	0	0	7.0	0	0	10.0	0
H11	0	0	0	1.0	90.0	1.0	0	13.0	0
H12	0	0	0	0	6.0	0	0	10.0	0
H13	0	0	0	0	17.0	0	0	0	0
H14	0	0	0	0	27.0	0	0	0	0
H15	0	0	0	0	63.0	3.0	0	0	0
H27	0	0	0	0	9.0	0	0	2.0	0
H28	0	0	0	1.3	2.0	0	0	0	0
H29	0	0	0	0	9.0	0	0	0	0
H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H31	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H32	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【今後の調査予定】

- ・次回は8月12日に臨時調査(播磨灘北部)を予定しています。調査結果がまとまり次第「赤潮情報 AK-02-11 号」としてお知らせします。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター (担当: 水産環境部 宮原、中桐)
Tel: 078-941-8601 Fax: 078-941-8604 Homepage: <http://www.hyogo-suigi.jp/>